生活科学部食物健康科学科　履修系統図

2025年度以降入学生用

群	分野	教育目標	1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
専門基礎	社会・環境と健康	人間や生活についての理解を深めるとともに、社会や環境が人間の健康をどう規定し左右するか、あるいは人間の健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかなど社会や環境と健康の関わりについて理解する。			公衆衛生学Ⅰ 栄養統計処理	公衆衛生学Ⅱ	社会福祉概論		公衆衛生学実験	
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	人体の構造や機能を系統的に理解する。 主要疾患の成因、病態、診断、治療等を理解する。	解剖生理学Ⅰ 有機化学 生化学Ⅰ	解剖生理学Ⅱ 解剖生理学実験Ⅰ 生化学Ⅱ	病理学	医学一般Ⅰ	解剖生理学実験Ⅱ 運動生理学 生化学実験	運動栄養生理学実験	医学一般Ⅱ	
	食べ物と健康	食品の各種成分を理解する。また、食品の生育・生産から、加工・調理を経て、人に摂取されるまでの過程について学び 、人体に対しての栄養面や安全面等への影響や評価を理解する。	食品学Ⅰ 調理学 調理学実習Ⅰ	食品学実験 食品衛生学 食文化論 調理学実習Ⅱ	食品化学 食品学Ⅱ（食品加工学を含む）		調理学実験	食品加工学実習 食品衛生学実験	食品化学実験 食品機能学 食品開発論	
専門分野	基礎栄養学	栄養とは何か、その意義について理解する。健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解し、エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を理解する。			基礎栄養学			栄養学実験		
	応用栄養学	身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を理解する。妊娠や発育、加齢など人体の構造や機能の変化に伴う栄養 状態等の変化について十分に理解することにより、栄養状態の評価・判定(栄養アセスメント)の基本的考え方を修得する。			ライフステージ栄養学Ⅰ	ライフステージ栄養学Ⅱ	応用栄養学実習	子どもの食と栄養 スポーツ栄養学	応用栄養学演習 疾病予防のための栄養学 スポーツ栄養学実習	
	栄養教育論	健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報の収集 ・分析、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。			栄養教育論Ⅰ	栄養教育論Ⅱ 栄養教育論Ⅲ	栄養教育論実習			
	臨床栄養学	傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて、適切な栄養管理を行うために、栄養ケアプランの作成、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考え方を理解し、具体的な栄養状態の評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用について修得する。			臨床栄養学Ⅰ	臨床栄養学Ⅱ 臨床栄養学実習	臨床栄養学Ⅲ 臨床栄養学Ⅳ	在宅栄養管理学 嚥下と口腔ケア 応用臨床栄養学実習	応用臨床栄養学演習	
	公衆栄養学	地域や職域等の健康・栄養問題とそれを取り巻く自然、社会、経済、文化的要因に関する情報を収集・分析し、それらを総合的に評価・判定する能力を養う。また、保健・医療・福祉・介護システムの中で、栄養上のハイリスク集団の特定とともにあらゆる健康・栄養状態の者に対し適切な栄養関連サービスを提供するプログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を修得する。			公衆栄養学Ⅰ	公衆栄養学Ⅱ	公衆栄養学実習		災害栄養学（演習を含む）	
	給食経営管理論	給食運営や関連の資源(食品流通や食品開発の状況、給食に関わる組織や経費等)を総合的に判断し、栄養面、安全面、経済面全般のマネジメントを行う能力を養う。 マーケティングの原理や応用を理解するとともに、組織管理などのマネジメントの基本的な考え方や方法を修得する。		給食経営管理論Ⅰ	給食経営管理論Ⅱ 給食経営管理実習Ⅰ	給食経営管理実習Ⅱ			マーケティング論（演習を含む）	
	総合演習	専門分野を横断して、栄養評価や管理が行える総合的な能力を養う。	基礎演習	管理栄養士入門			総合演習Ⅰ	国家試験対策演習Ⅰ 総合演習Ⅱ	国家試験対策演習Ⅱ	
	臨地実習	実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・ 判定に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門的知識及び技術の統合を図る。					臨地実習Ⅰ（給食の運営）	臨地実習Ⅱ（給食経営管理） 臨地実習Ⅲ（公衆栄養） 臨地実習Ⅳ（臨床栄養） 臨地実習Ⅴ（臨床栄養）		
	卒業研究	栄養の専門職として、栄養学研究活動を実践するために、研究の一連の過程を理解するとともに、指導を受けながら研究の計画・実施手法を修得する。							卒業演習	卒業研究

1単位の選択科目

2単位の選択科目